

6/23~29は「男女共同参画週間」/

男女共同参画センター ウェーブのご利用を

男女共同参画センター ウェーブは、女性も男性も、あらゆる分野で個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指す拠点施設です。講座の開催、情報提供なども行っています。ぜひご利用ください。

女性のための相談室(相談無料・秘密厳守)

	日程	問合せ
電話相談	月・木曜の 午前10時~正午、午後1時~4時	0798・64・9499 (専用電話)
面接相談	月曜~木曜、土曜の 午前10時~正午、午後1時~4時半	※要予約。予約は 月曜~土曜の午前 9時~午後5時 15分に(0798・ 64・9498)へ
法律相談	第3金曜の午後2時~5時	
チャレンジ相談 (就労・起業等)	偶数月:第2金曜の午前10時~午後1時 奇数月:第3火曜の午後1時~4時	

※いずれも祝・休日を除く

性的マイノリティ電話相談(相談無料・秘密厳守)

毎月第2土曜の午前10時~午後1時に専用電話(0798・68・6720)へ

学習室

グループでの学習や会議等で利用可。全5室(定員8人~45人)。要利用料。要予約。予約は(0798・67・9597)へ

図書・資料コーナー (HP) 47946600

ジェンダー問題、男女共同参画に関する図書や雑誌、DVDを貸出

問 ウェーブ (0798・64・9495) (HP) 24991199

福祉を知る

兵庫県福祉人材センターは、「福祉」に興味がある人へ、職場体験や就職総合フェアを実施しています。

問 兵庫県福祉人材センター (078・271・3881)

未体験でも大丈夫! 福祉の職場体験してみませんか?

特別養護老人ホームやデイサービスセンター、障害福祉サービス事業所などで職場体験ができます。事業の実施期間は来年1月31日まで。申込は同センターへ。

【対象者】高校生以上

【体験期間】1つの受入れ施設・事業所につき、1日4時間~8時間、計5日以内

【費用】無料 ※体験先までの交通費、体験中の食事代は自己負担

入場無料 福祉の就職総合フェア in HYOGO

「福祉の就職総合フェアin HYOGO」が神戸市で開催されます。資格や経験の有無に関わらず、福祉の仕事に関心がある人なら誰でも参加できます。入場無料。ぜひご参加ください。

【日時】7月9日(土)の午後1時~4時半

【会場】神戸国際展示場2号館

【内容】参加法人の採用担当者との個別面談、各種相談コーナーなど

詳しくはこちら



消費生活ガイド



トラブルにあったら消費生活センターに相談を。0798・64・0999

「自宅のトイレが詰まったため、マグネット広告に『トイレ修理900円~』と記載のある業者に修理を依頼したら、最終的に数十万円の請求をされた」。このような相談が寄せられています。

少しの修理で済むと思っていたのに、「奥の方で詰まっているので難しい工事が必要」「便器も劣化しているので交換した方が良い」などと不安をおおられ、作業が増えて最終的に高額な請求となります。

トイレの詰まり修理で高額請求!?

事業者から次々と作業を提案される場合はきっぱりと断りましょう。また、広告に表示されている料金を鵜呑(う)みにしない、事前に信頼できる工務店や管工事の組合を探しておく、といった対策も必要です。

料金に納得できない場合はその場で支払わないようにしましょう。また支払ってしまったもクーリング・オフできる可能性がありますので、早めに消費生活センターに相談しましょう。

参加者募集



親子で平和・非核学習の旅 広島バスツアー

市は、原爆の恐ろしさや悲惨さを知り、親子で平和の大切さを話し合う機会をもってもらうため、「親子広島バスツアー~平和・非核学習の旅」を実施します。広島平和記念資料館、原爆ドームなどを見学します。 ※平和記念式典は入場制限があり、参加することができません

【日程】8月5日(金)・6日(土)。1泊

【対象】小学4年生~中学生と保護者(在学者可)

【参加費】1人5000円

【定員】20組50人(保護者1人に子供2人まで申込可)。多数の場合抽選

【申込】6月23日までに市のホームページから ※チラシは各支所・公民館等で配布するほか、市のホームページからダウンロードできます



問 人権平和推進課 (0798・35・3473) (HP) 65647310

これからの季節は特に 家庭内食中毒に注意!

毎年、全国で多くの食中毒が発生しています。食中毒は家庭でも発生することがあるため注意が必要です。次の予防ポイントを守りましょう。

菌やウイルスを 付けない	菌を 増やさない	菌やウイルスを 死滅させる
<ul style="list-style-type: none"> ▶調理作業前や肉・魚介類・卵を触った後などは必ず石けんで手を洗う ▶調理器具などは、別の食品への二次汚染を防ぐため、使用の都度必ず洗浄・消毒するほか、まな板や包丁などは、肉・魚・野菜専用として使い分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ▶冷蔵・冷凍保存が必要な食品を購入後は、すぐに持ち帰って冷蔵・冷凍庫に入れる <p>保存温度は、冷蔵10℃以下、冷凍-15℃以下に</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶調理後はなるべく早く食べ、保存する場合は10℃以下に冷却する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶食品の中心部まで加熱(特に肉類は十分に)する <p>多くの食中毒菌やウイルスは、十分な加熱で死滅します</p>

新型コロナウイルス感染症の影響で、食品の持ち帰りや宅配等のサービスが増えています。高温多湿となるこれからの季節は、細菌性の食中毒が発生しやすくなります。購入・配達後は自宅等での保管は行わず、速やかに食べるようにしてください

問 食品衛生課 (0798・26・3776) (HP) 33554362

海外渡航時の 感染症に注意!

海外からの帰国時に国内へ感染症が持ち込まれるケースが増加しています。渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も多いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。また、日本で発生していない、動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症が海外で流行している地域も多く、注意が必要です。

海外での感染症予防のポイント

海外渡航前に流行状況をチェック

厚生労働省検疫所のホームページなどで、渡航先の感染症の発生状況について事前に情報を入手



厚生労働省検疫所HP

これまでに受けた予防接種の確認を

海外に渡航する前に、これまでに受けた予防接種を確認する ※予防接種の種類によっては、数回接種する必要があります。余裕をもって医師に相談を

帰国時、帰宅後に体調が悪くなら

帰国時に発熱や咳、下痢等で健康に不安のある人は、空港や港の検疫所に相談を。帰国後に症状が出た場合は、受診前に医療機関に電話し、海外渡航歴と症状を伝え、医療機関の指示に従って受診を

新型コロナウイルス感染症の水際対策に係る新たな措置については厚生労働省のホームページをご確認ください



問 保健予防課 (0798・26・3675) (HP) 32653220